

## 社会福祉法人ながのこころ 平成30年度 事業報告書

### ○ 利用者数の状況

入所利用者数は、1人増加した。有料老人ホーム・グループホームへ移るため、病气入院のため3人の方が退所した。一方で、当法人のグループホーム利用者・生活介護利用者、他法人通所施設利用者、障害の重度化した方の4人の入所があった。

通所利用者数は、9人増加した。入所利用者の退所に伴うもの3人、障害の重度化に伴うもの1人の方が退所した。一方で、障害の重度化等に伴い利用開始した方が6人、養護学校卒業者の新規利用者が5人、入所利用に伴う利用開始が2人あった。

就労継続支援A型の利用者は、営業1人、縫製2人を採用し、印刷2人、縫製2人退職した。

### ○ 職員の状況

堅調な景気動向に加え、少子化による新卒者数の減少などにより、ハローワークの求人に対する応募者や新卒者向け面接会への参加者が少ない中、欠員の補充等で最小限必要な人数を採用することができた。

### ○ 経営概況

- ・ ワークサポート篠ノ井は、通所利用者の増加により障害福祉サービス収益が増加したものの、人件費・事業費が増加し、サービス活動増減差額は前期比317万円減少した。
- ・ ハートフル五明は、入所利用者の増加により障害福祉サービス収益が増加したが、人件費・事業費も増加し、サービス活動増減差額は前期比4万円減少した。
- ・ はあてい若槻は、利用者の増加により障害福祉サービス収益が増加し、人件費が減少し、サービス活動増減差額は前期比660万円増加し黒字に転じた。
- ・ 長野福祉工場の印刷事業は、サービス活動収益は前期比4.1%増加した。材料費の上昇、外注加工費の増加が製造原価を押し上げ、運搬費の上昇が販管費を押し上げ、サービス活動費用は前期比3.8%増加した。サービス活動増減差額は△1,781万円、当期活動増減差額は△2,129万円と前期に続き赤字となったものの、サービス活動増減差額は前期比45万円改善した。

縫製事業は、サービス活動収益は制服の大口受注がなかったことで前期比17.2%減少した。収益減少に対応して製造原価は圧縮したが、製品仕入高が増加し販売原価の圧縮幅が低く、また運搬費の上昇で販管費の圧縮幅が低く、サービス活動費用は前期比13.4%減少となった。サービス活動増減差額は△111万円、当期活動増減差額は△162万円と赤字に転じた。

- ・ ワークサポート篠ノ井、ハートフル五明、はあてい若槻の3施設は堅実に黒字を確保したが、前述の長野福祉工場の赤字及び法人本部、グループホーム、あいくる、すまいる、ふれんどの赤字を吸収できず、法人全体の当期活動増減差額は△1,317万円と赤字に転じた。

## I 法人本部（総務部）

### 1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応

- ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
- ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。

### 2 感染症や災害の対策

- ・ 感染症発生対応訓練を事業所ごとに行った。
- ・ 利用者の食事配膳に従事する職員の保菌検査を2回実施した。
- ・ 水防法等の改正に対応した避難確保計画の作成はできなかった。
- ・ 平成30年5月22・23日 篠ノ井施設、はあてい若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。
- ・ 平成30年10月15・17日 消防署及び地元防災役員の参加を得て、篠ノ井施設、はあてい若槻及び長野福祉工場の秋季防災訓練を実施した。
- ・ 平成30年10月22日、11月8・9日 グループホームうわのほーむ、さいなみほーむ及びせはらだの防災訓練を実施した。

### 3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 平成30年10月6日（土） 篠ノ井施設で第41回コロニー祭を開催した。
- ・ 平成30年10月27日（土） 若槻施設で第9回コロニーまつりを開催した。
- ・ 案内のあった地域イベントへ積極的に参加した。
- ・ 広報誌ながのコロニー第12号、第13号を発行した。
- ・ コロニーだより第22号、第23号を発行した。
- ・ 法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

### 4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 新規採用職員全員の雇入時健康診断を実施した。
- ・ 深夜業務従事職員に年2回の健康診断を実施した。
- ・ 新規採用職員及び深夜業務従事職員以外の職員に年1回の健康診断を実施した。
- ・ 勤務時間が週28時間以上の職員に対し、ストレスチェックを実施し、職員の心の健康づくり及び活気のある職場づくりに取り組んだ。
- ・ 安全衛生委員会及び衛生委員会を毎月開催し、職場巡視等を行った。
- ・ ハラスメント研修を実施した。
- ・ 歯磨きアンケートを実施し、口腔の健康の重要性について啓発した。

## 5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修を積極的に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力・派遣を行った。

## 6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 処遇改善加算Ⅰに必要な要件を研究した。

## 7 理事会・評議員会

理事会を7回、評議員会を3回開催した。詳細は、平成30年度会議及び行事等報告書のとおり。

## 8 監事監査

現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、平成30年度会議及び行事等報告書のとおり。

## II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

### 【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	28 人	27.3 人月
生活介護	44 人	50 人	50.5 人月
就労移行支援	6 人	2 人	1.7 人月
就労継続支援B型	10 人	12 人	12.8 人月
短期入所	2 人	—	延べ 348 人日

### 1 施設入所支援

- ・ 入所利用の状況に応じた適切に必要な支援と介助を行った。
- ・ これからの暮らし方の選択のために必要な情報提供や提案を行った。

### 2 生活介護

#### (1) 生産活動

- ・ やりがい、意欲、責任感を持って取り組めるよう支援した。
- ・ 適性に合わせた生産活動を提供した。
- ・ 利用者の作業技術の向上と利用者間の作業技術の継承を支援した。
- ・ 事業者と連携を強化し、年間を通して安定した作業量と工賃を確保した。作業単価の見直しを行い、取引業者と交渉した。2社作業単価が上がった。
- ・ 新規に取り組む作業を検討したが、取り組むまでには至らなかった。

#### (2) 生活面

- ・ 健康管理や健康状態の改善に向けた支援をした。
- ・ 口腔ケアの必要性を啓発した。
- ・ その人に適した余暇の情報を提供した。

### 3 就労移行支援

一般就労への移行実績がなく、利用者数の増加が見込めないため、平成 31 年 4 月から休止とした。

#### (1) 日中活動

- ・ 利用者の状況やニーズを把握した。
- ・ 就職希望者に外部の専門的な学習会に参加する機会を提供した。
- ・ 施設外実習及び施設外就労の機会を提供し、会社、商店等施設外での活動を支援した。
- ・ 関係機関と連携し求人情報を提供し、就職活動を支援した。
- ・ 他のサービスの利用を希望する方に利用手続等の支援を行った。

#### (2) 生活面

- ・ 希望する日中活動が送れるよう支援した。
- ・ 就職に向けた支援だけではなく、安定した生活が送れるよう支援した。

### 4 就労継続支援 B 型

#### (1) 生産活動

- ・ 既存の施設内活動のほか施設外就労を実施した。
- ・ 責任感や達成感を感じられるように支援した。

#### (2) 生活面

- ・ 一人ひとりに合った充実した生活が送れるように支援した。

### 5 短期入所

- ・ 家族の介護負担軽減、地域生活移行の訓練など目的を確認し、必要な支援を行った。
- ・ 状況や状態に合わせたサービスを提供した。

### 6 保健

#### (1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 年 2 回の定期健康診断と嘱託医の月 1 回の診察を行った。
- ・ 必要な血液検査等各種検査を行った。

#### (2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援ができた。
- ・ 支援員・栄養士・看護師で情報を共有した。
- ・ 身体の衛生保持の必要性の啓発や疾病予防の支援をした。
- ・ 理解や受け入れが難しく、十分に支援できなかった利用者もいた。

#### (3) 感染症対策

- ・ 研修会への参加等で感染症対策の知識の習得と情報収集ができた。
- ・ 感染症対策の知識や感染症情報を提供し、予防活動を支援した。
- ・ 手洗い・うがい・マスクの着用を徹底できた。

(4) 医療ケア

- ・ 外部専門家の助言等を支援員と共有し安全確実に実施できた。

## 7 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 身体状況に応じた食事を提供した。
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
- ・ 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 適正な栄養量を確保した。
- ・ 療養食を提供した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

(4) 感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防した。
- ・ 感染者が出なかったため、拡大防止策は行わずに済んだ。

(5) 委託事業者との連携

- ・ HACCP の手法により食品衛生管理を徹底した。
- ・ 療養食、代替食等は個別に対応した。

## 8 レクリエーション・行事

(1) 利用者の休養・娯楽・元気回復及び祝祭のため次のレクリエーション及び行事を行った。

- ・ グループ行楽（複数のコースで実施）
- ・ 納涼祭
- ・ コロニー祭
- ・ 忘年会
- ・ 成人式
- ・ 宿泊旅行

(2) レクリエーション参加者の費用負担について検討した。

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	9,719 人	9,820 人	△101 人	99.0%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	26.6 人日	26.9 人日	△0.3 人日	98.9%
	平均利用率	66.5%	67.3%	△0.8 ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	11,670 人	11,545 人	125 人	101.1%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	43.4 人日	42.9 人日	0.5 人日	101.2%
	平均利用率	98.6%	97.5%	1.1 ポイント	—
就労移行支援	延べ利用者数	359 人	316 人	43 人	113.6%
	開所日数	235 日	183 日	52 日	128.4%
	平均利用者数	1.5 人日	1.7 人日	△0.2 人日	88.2%
	平均利用率	25.0%	28.3%	△2.8 ポイント	—
就労継続支援B型	延べ利用者数	2,515 人	2,153 人	362 人	116.8%
	開所日数	269 日	269 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	9.3 人日	8.0 人日	1.3 人日	116.3%
	平均利用率	93.0%	80.0%	13.0 ポイント	—
短期入所	延べ利用者数	348 人	288 人	60 人	120.8%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	1.0 人日	0.8 人日	0.2 人日	125.0%
	平均利用率	50.0%	40.0%	10.0 ポイント	—

【売上高】

(単位 円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	9,071,449	9,060,000	100.1%
		11,705,182	77.5%
就労移行支援	146,560	270,000	54.3%
		228,003	64.3%
就労継続支援B型	2,686,882	2,170,000	123.8%
		2,933,577	91.6%

## 【工賃】

(単位 円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	7,639,016	9,984,881	△2,345,865	76.5%
	平均月額	12,539	17,211	△4,672	72.9%
就労移行支援	総額	121,390	195,020	△73,630	62.2%
	平均月額	6,070	9,751	△3,681	62.3%
就労継続支援B型	総額	2,237,850	2,558,010	△320,160	87.5%
	平均月額	14,626	20,629	△6,003	70.9%

## III ハートフル五明 障害者支援施設

## 【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	27 人	26.8 人月
生活介護	40 人	29 人	27.5 人月

## 1 日常生活上の支援

## (1) 介護

- ・ 利用者の状態に合わせた介護をするために、支援体制を整えた。
- ・ 移動式リフトの利用拡大を進めたが、介助方法の周知に不備があった。

## (2) 入浴

- ・ 入浴介助を週 4 回実施した。
- ・ 利用者の状態に合わせた入浴方法を実施した。
- ・ 処置など必要に応じて看護師と連携した。

## (3) 外出

- ・ 利用者の希望を取り入れた外出を定期的ではなかったが実施することはできた。
- ・ 花見や紅葉等季節の行楽、買い物・食事等についても定期的ではなかったが実施した。

## (4) 機能維持訓練

- ・ 日中活動前の体操や必要な利用者には機能訓練を実施した。
- ・ 笑いヨガの先生に定期的に来ていただき実施した。(日中活動支援と共通)
- ・ 生活不活発病予防のため、体調に応じて離床時間を増やした。

## (5) 通院付き添い

- ・ 日々の利用者の体調をこまめに把握し、看護師と連携して対応した。

## 2 日中活動の支援

- ・ できる限り利用者の希望に沿った活動を企画した。
- ・ 外部講師を活用した。

- ・ 陶芸の活動については今後についての検討が必要となった。
- ・ 販売経路は、利用者の大幅な介護の増加に伴い縮小を検討した。
- ・ 新しい日中活動について引き続き検討が必要。

### 3 保健

#### (1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 年2回の定期健康診断と嘱託医の月1回の診察を実施した。
- ・ 必要に応じて血液検査等各種検査を実施した。

#### (2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態を把握し、必要な支援を実施した。
- ・ 支援員・栄養士・看護師が情報を共有した。
- ・ 誤嚥性肺炎、褥瘡、尿路感染症等合併症の発生を予防した。
- ・ 身体の衛生保持の必要性の啓発や疾病予防の支援をした。

#### (3) 感染症対策

- ・ 職員が感染症対策の知識を習得した。感染症の情報を収集した。
- ・ 感染症対策の知識や感染症情報を共有し、感染予防を支援した。
- ・ てあらい・うがい・マスクの着用を徹底した。
- ・ インフルエンザ予防接種を全員実施した。接種費用を補助した。

#### (4) 医療ケア

- ・ 外部専門家の助言等を支援員と共有し、安全確実に実施した。

### 4 給食

#### (1) 楽しく温かい食事

- ・ 身体状況に応じた食事を提供した。
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事を提供した。
- ・ 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適時適温で提供した。

#### (2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有した。
- ・ 療養食を提供した。
- ・ 状態に応じた形態の食事を提供し、むせや誤嚥性肺炎を予防した。
- ・ 食事前に嚥下体操を行った。

#### (3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を行った。

#### (4) 感染症対策

- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防した。
- ・ 感染者が出なかったため、拡大防止対策は行わずに済んだ。

#### (5) 委託事業者との連携

- ・ HACCPの手法により食品衛生管理を徹底した。
- ・ 療養食、代替食等は個別に対応した。



## 5 行事・レクリエーション

(1) 利用者の希望に沿った楽しい行事を企画・実施することができた。

- ・ 日帰り行楽（松本 ホテルブエナビスタ）（長野 ホテル国際21）
- ・ 納涼祭
- ・ コロニー祭
- ・ 忘年会

(2) レクリエーション参加者の費用負担について検討した。

## 6 設備投資

(単位 円)

購入設備	数量	単価	金額
ノート型パソコン	2台	116,100	232,200

### 【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	9,493人	9,630人	△137人	98.6%
	開所日数	365日	365日	0日	100.0%
	平均利用者数	26.0人日	26.4人日	△0.4人日	98.5%
	平均利用率	65.0%	66.0%	△1.0ポイント	—
生活介護	延べ利用者数	7,119人	7,252人	△133人	98.2%
	開所日数	269日	269日	0日	100.0%
	平均利用者数	26.5人日	27.0人日	△0.5人日	98.1%
	平均利用率	66.3%	67.5%	△1.2ポイント	—

## IV はあてい若槻 多機能型事業所

### 【利用状況】

区分	定員	計画	実績
生活介護	16人	14人	13.3人月
就労継続支援B型	25人	23人	23.4人月

- ・ 職員の研修や資格（免許）取得を行うことができた。
- ・ 概ね計画的にモニタリングと個別支援計画を行うことができた。

### 1 生活介護

- ・ 日中活動として、生産活動及び創作活動を充実し取り組むことができた。
- ・ 生産活動は、皆さんの体調やペースに合わせた作業を提供することができた。

- ・ 創作活動は、月 2 回の音楽療法や月 1 回のお話し読み聞かせ等、外部の方をお呼びし、皆さんに楽しんでいただいた。

## 2 就労継続支援 B 型

- (1) 取引事業者から早めに情報収集を行い、効率良い作業を心がけて進めることができたが、目標工賃には達することができなかった。
- (2) 施設外就労の経験を施設内作業に応用できるよう支援した。今後も進めていく。
- (3) 関係団体（SELP 等）と連携を図り、作業の安定的な受注ができた。
- (4) 売上及び工賃実績は、次のとおり。

【売上】 (単位 円)

当期実績	当期計画	計画達成率
	前期実績	前期比
5,260,529	5,761,200	91.3%
	4,805,679	109.5%

【工賃】 (単位 円)

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
総 額	4,743,108	4,391,095	352,013	108.0%
平均月額	16,879	17,154	△275	98.4%

## 3 行事・レクリエーション

- (1) 年間行事
  - ・ 予定どおりに実施することができた。
  - ・ 利用者の希望に沿えるように努め楽しんでいただいた。
- (2) 土曜レクリエーション
  - ・ 月 1 回～2 回の実施で、季節に合わせた企画を楽しんでいただいた。

## 4 設備投資

(単位 円)

購入設備	数量	単 価	金 額
ノート型パソコン	2 台	143,100	286,200
ノート型パソコン	2 台	137,160	274,320
物置 (ヨドコウ エルモ背高Hタイプ積雪型)	1 式	1,260,000	1,260,000

【利用者数】

区 分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生 活 介 護	延べ利用者数	2,542 人	2,488 人	54 人	102.2%
	開所日数	251 日	253 日	△2 日	99.2%
	平均利用者数	10.1 人日	9.8 人日	0.3 人日	103.1%
	平均利用率	63.1%	61.3%	1.8 ポイント	—
就 労 継 続 支 援 B 型	延べ利用者数	5,228 人	4,765 人	463 人	109.7%
	開所日数	251 日	254 日	△3 日	98.8%
	平均利用者数	20.8 人日	18.8 人日	2.0 人日	110.6%
	平均利用率	83.2%	75.2%	8 ポイント	—

V 長野福祉工場 就労継続支援 A 型事業所

【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
就労継続支援 A 型	40 人	38 人	36.1 人月

1 印刷事業

- ・ 売上 計画 3 億 5,500 万円、実績 3 億 2,756 万円
- ・ 加工高 計画 1 億 5,000 万円、実績 1 億 3,384 万円
- ・ 営業力強化  
営業職員を求人したが採用できなかった。営業課で毎月情報交換はしているが研修は行わなかった。
- ・ 制作力強化  
外部研修は JAGAT、アドビを受講した。内部研修は、制作デザイン等の研修を毎月行った。
- ・ 印刷オペレーターの確保・育成  
オペレーターを求人したが採用できなかった。
- ・ 売上・生産総合管理システム  
11 月から稼働させた。
- ・ パソコン、機械等の更新  
パソコンを更新した。機械の更新については助成制度を活用するため申請手続きを行った。
- ・ ロス、クレームの発生抑止、効率化  
新しい売上・生産総合管理システムが十分に活用できず、効率化の成果は出せなかった。  
マニュアルの補完はできていない。

- 印刷事業の方向性、印刷棟の改築等の検討  
印刷事業の方向性について、工場内でとりまとめ、理事会へ報告し承認を得た。  
高額機器の更新や改築の具体的検討は先送りした。

## 2 縫製事業

- 売上 計画 1 億 4,000 万円、実績 1 億 2,804 万円
- 加工高 計画 4,000 万円、実績 4,527 万円
- 指導者等後継者育成  
主任を含め退職者を補充できた。
- 計画的な受注生産を行う。  
計画的受注に努めた。短納期のものが多く通年繁忙だった。
- マニュアルの見直し  
マニュアルは一通りできているが、詳細化や時点修正ができなかった。

## 3 福祉事業

- 支援職員のスキル向上  
障害者差別解消法については外部から講師を呼んで全職員が研修した。  
県社協、長野県相談支援専門員協会、ゼンコロの外部研修を受講した。
- 利用者の後継者の確保  
特別支援学校等の見学を受け入れ連携を図った。

## 4 設備投資・修繕

(単位 円)

項目	数量	実績額	うち自己資金	備考
縫製型抜き機	1 台	2,224,800	2,224,800	リース
縫製エアコン交換	1 式	1,964,304	1,964,304	
営業課コピー機	1 台	540,000	540,000	
パソコン(印刷課)	2 台	363,528	363,528	
キュービクル改修	1 式	1,979,640	1,979,640	
1号機エレベータ修理	1 式	1,344,600	1,344,600	
オフ輪ニップローラー交換	1 式	614,216	614,216	
3F 男子トイレ污水管修理	1 式	540,000	540,000	
2F 男女トイレ床張替	1 式	465,004	465,004	
3F 男子トイレ小便器排水管修理	1 式	400,000	400,000	
トイレ排水管洗浄	1 式	379,728	379,728	
西側外壁ひび防水	1 式	200,000	200,000	
非常用発電設備修理	1 式	129,600	129,600	
トイレ用手すり改修	1 式	123,681	123,681	
縫製工場ブラインド取替	1 式	108,972	108,972	
外部風除シート修理	1 式	103,680	103,680	

【売上高】 (単位 千円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	327,555	355,000	92.3%
		313,937	104.3%
縫製	128,044	140,000	91.5%
		150,012	85.4%

【加工高】 (単位 千円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	133,837	150,000	89.2%
		131,020	102.2%
縫製	45,270	40,000	113.2%
		46,721	96.9%

【賃金】 (単位 円)

区 分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
賃金 (総額)	63,238,488	62,521,967	716,521	101.1%
賃金 (平均月額)	146,047	146,765	△718	99.5%

【利用者数】

区 分	当期実績	前期実績	増 減	前期比
延べ利用者数	7,632 人	8,050 人	△418 人	94.8%
開所日数	239 日	242 日	△3 日	98.8%
平均利用者数	31.9 人日	33.3 人日	△1.4 人日	95.8%
平均利用率	79.8%	83.3%	△3.5 ポイント	—

VI 地域生活支援センターコロニー 共同生活援助 (グループホーム)

【利用状況】

名 称	定 員	計 画	実 績	バックアップ施設
さいなみほ～む	4 人	3 人	2.3 人月	ワークサポート篠ノ井
うわのほ～む	4 人	4 人	2.7 人月	はあてい若槻
グループホームせはらだ	4 人	4 人	4.0 人月	ワークサポート篠ノ井

- ・ 担当支援員及び世話人が連携を取りながら関り、利用者は安定した状況で地域生活を

送ることができた。

- ・ 上野地区でのグループホームは現在地からの移設を検討している。

## Ⅶ あいくる 相談支援事業所

### 【利用状況】

区 分			当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	計画相談支援	特定 サービス利用支援	92人	125人	△33人	73.6%
		モニタリング	205人	139人	66人	147.5%
	児童	サービス利用援助	22人	20人	2人	110.0%
		モニタリング	44人	23人	21人	191.3%
	地域相談支援 一般・地域移行支援		0人	8人	△8人	0.0%
障害支援区分認定調査			17人	21人	△4人	81.0%

- ・ スキルアップのための研修に参加はしたが十分ではなかった。
- ・ 相談員の担当件数を把握し、超過することなく対応することができた。
- ・ 行政等関係機関とは新規の取り組みなどについて確認しながら進めることができた。

## Ⅷ すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

### 【利用者数】

区 分	計画（登録者）	利用実績
放課後等デイサービス	20人	23.5人月
自立サポート	20人	16.6人月
タイムケア	9人	7.3人月

- ・ 定期的に個別支援計画書を作成し、保護者の方と支援内容を確認することができた。
- ・ 利用児童は、1日の定員10人に達しなかった。
- ・ 専門職の人員配置基準について、行政に確認して問題なく対応することができた。

### 【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	1,133人	926人	207人	122.4%
開所日数	247日	241日	6日	102.5%
平均利用者数	4.6人日	3.8人日	0.8人日	121.1%

## Ⅸ ふれんど 障害児自立サポート事業所

### 【利用状況】

区 分	計画(登録者)	利用者数
障害児自立サポート	3人	3人

- ・ 利用される児童の成長・発達を考えた支援をすることができた。